

- これまでのAチームとBチームの選手を積極的に交代させながら実戦練習を行った。
- 前半戦はペイントエリア付近のシュート確率は60%以上の確率で入り、3ポイントシュートも33%以上であった。しかし、後半戦になるとシュートの確率も落ちてしまった。原因を分析し、改善していく。

試合の様子



3. 総括

今回の合宿前に選手とコーチングスタッフ達でオンラインによる意見交換会を行った。そこで出てきた改善策を行い、合宿に挑むことができたおかげで練習の密度がより高いものとなった。

1日目のミーティングでは、途中から選手主導の対話があった。トップダウンだけではなく、ボトムアップで各自の思いを確認することができた機会となった。誰かを批判するのではなく、自分に矢印を向けて、チームが勝つために今何ができるのかという思いを強く持つことができた。

その思いは2日目の試合にも良い影響を与えており、素晴らしいスタートダッシュを切ることができていた。最終的に100点ゲームで勝利することができた。しかし、内容はまだまだ改善していかなければいけないポイントがたくさん見つかった。この課題をクリアし、11月までにさらに向上していきたいと気持ちを新たに合宿であった。

対戦してくださったBEARSの皆様、蘇田様、春山様、つどいの丘の関係者の皆様本当にありがとうございました。